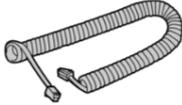
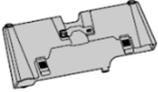
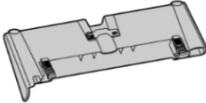


ひかりクラウドPBX IP-Phoneお客さま設置ガイド

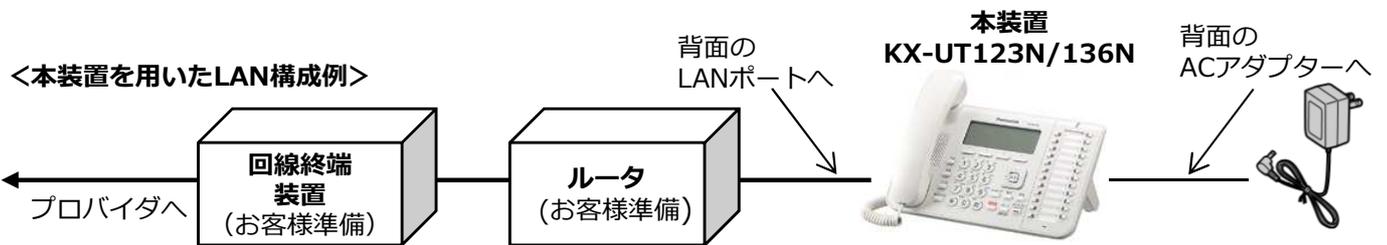
弊社より販売させていただきましたIP電話機：Panasonic製KX-UT123N/136N（以下、「本装置」）をお客さまご自身で設置される際には、まず最初に本ガイドをご確認ください。

①付属品及び同梱書類（本ガイド除く）の確認を行ってください。

| 受話器 | 受話器コード | お使いになる前に |
|---|---|---|
|  |  |  |
| スタンド | AC電源（KX-A239N） | 保証書 |
| KX-UT123N  KX-UT136N  |  |  |

②本装置の接続／設置を行ってください。

- (1) 本装置とお客準備のルータを接続し、インターネットへ接続できる環境としてください
- (2) 本装置とACアダプターを接続してください



本装置のスタンドの取り付け方、ケーブル接続方法詳細については、同梱の「お使いになる前に」をご参照ください。

③自動設定を開始します。

- (※注意事項)自動設定はインターネット環境(プロキシサーバ経由不可)でのみ可能です。
- ・IP-Phoneからインターネットへ接続できていれば、自動設定が始まります。
 - ・液晶画面に、「ネットワーク初期化中・・・」⇒「サーバ接続中・・・」と表示された後、端末再起動し、再び「ネットワーク初期化中」⇒「サーバ接続中」と表示されます。
 - ・自動設定完了後、右記画面となり、内線番号が表示されます。

<自動設定成功時の液晶画面例>



※自動設定の内容は、「サーバアドレス、内線番号、ID、パスワード、ピックアップボタン割当て、パーク保留ボタン割当て、時刻」です。

詳細は裏面に記載の「IP電話機(KX-UT123_KX-UT136)操作マニュアル」をご参照ください。

④開通試験を実施します。

以下の要領で通話試験を実施してください。

◆発信試験

- 1) 受話器をあげて、ツー音が聞こえる事を確認してください。
- 2) ゆっくり「1234」をダイヤルしてください。
- 3) 電話につながり、ガイダンス『このサービスは利用可能です』が流れます。(通話料無料)

◆着信試験

- 1) ひかりクラウドPBXの他の内線電話機から、本装置に割り当てた内線番号(ディスプレイに表示)へダイヤルし、着信・通話の正常性をご確認ください。

IP-Phoneの操作方法については、下記資料をご確認ください。

■IP電話機KX-UT123N/136N 操作マニュアル

<https://flets.com/pbx/function.html/>

■Panasonic SIP電話機 取扱説明書(操作編) KX-UT123N/KX-UT136N/KX-UT248N

<http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/download/>



■ディスプレイに内線番号が表示されない場合(自動設定できない場合)

本装置のディスプレイの表示内容に従って、お客様確認作業を実施してください。

①表示内容:ネットワークエラー(アドレス未設定)

上位ルータからIP-PhoneへIPアドレスが払い出されていません。

上位ルータにDHCPの設定を行い、再度、接続をしてください。

NTT東日本の、ひかり電話、ひかり電話オフィスタ입、ひかり電話オフィスA(エース)で、ひかり電話対応機器をご利用されている場合、ひかり電話対応機器の種別によってはIP-PhoneとのDHCPが失敗します。この場合IP-Phoneの上位ルータ(DHCPサーバ)に別の機器をご準備ください。

IP-PhoneとのDHCP動作が失敗するひかり電話対応機器(2015.12時点で確認済機種)

OG410,OG810,RT-400NE,RV-A340SE,RT-A300NE,RT-S300NE,RV-230SE,RV-230NE,RT-200NE

②表示内容:ネットワークエラー(ケーブルをご確認ください)

LANケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

③表示内容:接続エラー90001

以下2点をご確認ください。

(1)お客様ルータ等で以下の通信要件を満たしているかご確認ください。

自動設定(HTTPS/TCP)宛先ポート:443/宛先アドレス:内線サーバアドレス(ご利用内容のご案内参照)

時刻同期(NTP/UDP)宛先ポート:123/宛先アドレス:"ntp.nict.jp"のアドレス

DNS(DNS/UDP)宛先ポート:53/宛先アドレス:Any

呼制御(SIP/UDP)宛先ポート:35790/宛先アドレス:内線サーバアドレス(ご利用内容のご案内参照)

※ルータのアクセスリストにIPアドレスを設定する場合には、「開通のご案内」に記載の内線サーバアドレス(FQDN)からNS LookupでグローバルIPアドレスを特定いただき、設定してください。

⇒通信不可の場合、ルータ等の設定を見直ししてください。

(2)ひかりクラウドPBX開通日から一定期間(1週間程度)経過していませんか。

⇒サーバ上の設定ファイルが無くなった可能性があります。管理者さまへご連絡いただき、「ビジネスポータル」上の「Web設定変更サイト」→「内線設定」で該当番号の端末自動設定をoff/on(offにしてから変更を押し、onに戻してから変更を押し)してください。

上記2点ともに問題が無い場合、管理者さまへご連絡いただき、弊社から送付させていただく「開通のご案内」に記載のお問合せ先へご連絡ください。

■ディスプレイに内線番号は表示されるが、通話できない場合

事象内容に従って、お客様確認作業を実施してください。

①双方無音もしくは片通話となる、着信ができない

⇒お客様ルータ等で以下の通信要件を満たしているかご確認ください。

呼制御(SIP/UDP)宛先ポート:35790/宛先アドレス:内線サーバアドレス(ご利用内容のご案内参照)

音声(RTP/UDP)宛先ポート:30000~32000/宛先アドレス:内線サーバアドレス(ご利用内容のご案内参照)

※ルータのアクセスリストに宛先IPアドレスを設定する場合には、「ご利用内容のご案内」に記載の内線サーバアドレス(FQDN)からNS LookupでグローバルIPアドレスを特定いただき、設定してください。

※お客様ルータ等でNATを行う場合、UDPポートを20秒未満で閉塞する設定となっていると、着信不可となります。

②音声途切れる、音声遅延が大きいなど、音声品質に問題がある

⇒お客様ネットワーク回線帯域を見直ししてください。IP-Phoneの場合、1通話 約100kbpsの帯域が必要となります。

■電源が入らない場合、本装置が破損している場合

初期不良の可能性があります。

「開通のご案内」に記載のひかりクラウドPBXサポートへご相談ください。メーカー故障修理窓口をご照会いたします。